



義援金到達 836,429 円

第3次支援隊 小林事務長 現地レポート③

友の会員や地域まわりにシフト、4月からは看護・介護・リハビリの継続的な要求に応える支援に…



3/24 夜

本日は最高の210人が支援に入りました。小玉さんは外来支援に、鈴木さんは避難所まわりに、小林は支援者受け入れにつきました。全体としては、ここ数日は友の会員の家を訪問する、地域まわりにシフトしていきそうです。4月からは看護・介護・リハビリの継続的な要求に応える支援に移るようです。次の部隊ですが、長靴は90%ありません。自分たちの食事、水は多めに持参してください。では、明日午後出発します。

3/25 朝

やっぱり長靴持たせてください。この間はたまたま天気良かったけど、寒い上に雨に濡れたら、げんなりすると思います。晴れていれば、ぬかるみの所まで行くことはありませんでした。

今後の人的支援・物資の支援について

昨日の神奈川民医連常任理事会において、今後の人的・物資の支援について討議がされました。

- ① 人的支援については、県連内各法人に期間を割り振り、概ね4泊5日のサイクルで継続的支援を行う。支援の職種については4/2の全日本民医連理事会を踏まえて再確認する。
- ② 物資については、坂総合病院がいっぱいになってきたこともあり、重点物資にしばって事前に登録の上、指示を受けて送付する。

4/3の県連理事会で決定されれば、その方針に沿って取り組みを進めます。

一方、医療福祉生協連は、新潟医療生協内に「支援物資センター」を開設し、限定した必要性のある物資について受け付けています。また、直接物資を届ける場合は、事前に連絡した上で郡山・小名浜の各医療生協に届ける方法もあります。

3/27の法人理事会で確認後、ご提案させていただきます。



長町病院前で
栗山看護師(左)



救急車の誘導を行う「☆☆さん」

<中田診療所 中尾事務長より>

さっそく 被災地(災害救助法適用市町村)から避難された患者様が来院されました。福島県双葉郡楢葉町(ふたばぐん ならはまち)の方で、中田南在住の娘さん宅に避難。